

施設内の対策

①施設内共通

- 行列や混雑が想定される場所では、できるだけ2mを目安に(最低1m)の間隔を空けた整列を促す等の工夫を行う。
- 換気システムがある場所では、常に換気システムを稼働させる。換気システムがない場所では、公演に支障がない場所では扉、窓を常時開けて換気を行う。

②観覧席

- 座席の最前列席は、舞台前から十分な距離(2m)を取り、また、感染予防に対応した十分な座席の間隔の確保(前後左右を空けた席配置)に努める。また、客席を40名(定員の50%)に制限する。
- 各回の公演ごとに、その公演前に、観覧席のドアノブや手すり等、不特定多数が触れやすい場所の消毒を行う。なお、消毒液は、アルコールや次亜塩素酸ナトリウム溶液等、当該場所に最適なものをを用いる。
- 施設管理者は、休憩時や仲入りに扉を開放して、観覧席内の換気を行う。

③スタジオ入口

- 来場者に手洗いの励行を促し、入口に、手指消毒用の消毒液を設置する。
- スタジオ入口に、消毒マットを設置し、靴裏を消毒して入室するよう促す。

④ロビー

- 不特定多数が触れやすいテーブルや椅子等は、定期的に消毒する。
- 対面での会話を回避するよう促す。
- ロビーでの飲食は不可であることを周知する。
- 鑑賞前後に、人が滞留しないよう、段階的な出入り等の工夫を行う。
- ロビーに「かがわコロナお知らせシステム」のQRコードを掲示する(感染者の利用が判明した場合、登録者に注意喚起情報を通知するもの)。

⑤トイレ

- 不特定多数が接触する場所は、清掃・消毒を行う。
- 液体石鹸を設置し、手洗いをを行う。

⑥当日受付・物品販売

- 受付時や対面で販売を行う場合、アクリル板を設置し、購買者との間を遮蔽するよう努める。
- 現金の取扱いは、トレイでの受け渡しとし、トレイ等の消毒を徹底する。
- 当日受付・物品販売に関わるスタッフは、マスク及びフェイスガードの着用と手洗いを徹底する
- 多くの者が触れるようなサンプル品・見本品は取り扱わない。
- 現金の取扱いをできるだけ減らすため、おつりの出にくい金額設定をする。

⑦清掃・ゴミの廃棄

- 清掃やゴミの廃棄を行う者は、マスクと手袋の着用を徹底する。
- 作業を終えた後は、手洗いや手指消毒を行う。

⑧楽屋・控室・バックヤード

- テーブル、椅子等の物品の消毒を定期的に行うこと。
- 利用者が密にならないように入場制限等を実施すること。
- 手や口が触れる皿やコップについては、適切に洗浄消毒するなど特段の対応を行い、対応が難しい場合には使い捨ての紙皿やコップを使用すること。
- 機材や備品、用具等の取扱い者を選定し、不特定者の共有を制限する。

スタッフ・キャスト等関係者に関する感染防止策

<稽古時、公演当日における対策>

- スタッフ・キャストは、毎回稽古前・公演前に検温を行い、責任者はスタッフ・キャスト等関係者の健康状態を把握しておく。本学の新型コロナウイルス感染症への対策に基づき、必要な場合は自宅待機とする。
- 責任者は、スタッフ・キャスト等関係者の緊急連絡先や勤務状況を把握する。
- 施設の管理・運営に必要な最小限度の人数とするなど、ジョブローテーションを工夫する。
- 稽古場は、土足厳禁とし上履きに履き替えることとする。
- マスク(必要に応じてフェイスガード)着用や手洗いを徹底する。
- 稽古場は、常時換気を実施し、ドアノブ、机、いす、床などは頻繁に清拭消毒を行う。
- 舞台セットや、小道具は舞台監督と相談し抗菌処理を行い、スタッフはできるだけ用具の共有を行わない。
- スタッフ・キャスト等関係者に感染が疑われる場合には、直ちに本学コロナ対策本部へ連絡し、必要な情報提供を行い、対応について指示を受け、公演中止となった場合は速やかに観客への周知を行う。

来場者に関する感染防止策

<公演前の対策>

①来場者の把握(氏名、緊急連絡先)を行う。来場者に感染者が発生した場合など必要に応じて保健所等公的機関へ情報提供する可能性があることを事前に周知する。

- 来場前の検温の実施の要請のほか、クロークを設置しないことや来場を控えてもらうケースを事前に周知する。

<公演当日の対策>

①周知・広報

- 感染予防のため、来場者に対し以下について周知する。
 - ◇ 発熱や咳・咽頭痛等の症状のある方、新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した者との濃厚接触がある方、同居家族や身近な知人の感染が疑われる方、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航並びに当該国・地域の在住者との濃厚接触がある方には入場を控えていただく。

- ◇ 咳エチケット、マスク着用、手洗いや手指消毒の推奨
- ◇ 社会的距離の確保(できるだけ2mを目安に(最低1m)確保するよう努める)の推奨
- ◇ 出待ち入待ち、出演者等への差し入れは禁止であることを呼びかける。

②来場者の入場時の対応

- ◆ 以下の場合には、入場を認めない。
 - ◇ 来場時に検温を行い、発熱がある場合
 - ◇ 咳・咽頭痛などの症状がある場合
 - ◇ 新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した者との濃厚接触がある場合
 - ◇ 同居家族や身近な知人の感染が疑われる場合
 - ◇ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航並びに当該国・地域の在住者との濃厚接触がある場合
- ◆ もぎりは行わない。もしくは、もぎりの際は手袋の着用をする。
- ◆ パンフレット・チラシ・アンケート等は手渡しによる配布は行わない。
- ◆ クロークは設置せず、来場者の衣服・鞆等預かりは行わない。

③来場者の感染防止策

- ◆ マスク着用及び定期的な手洗いや手指消毒を奨励する。
- ◆ 場内における大声等での会話の制限を要請する。
- ◆ 来場者の退場時の対応・退場時は、混雑しないよう、列ごとに分けて退場を促す等の工夫を行う。

<公演後の対策>

- ◆ 公演における感染予防対策及び感染の疑いのある者が発生した場合には速やかに連携が図れるよう、受付名簿を保管し、連絡体制を整えておく。

<公演中止となった場合の対策>

- ◆ 観客への周知方法：予約受付時のメールアドレスもしくは電話番号へ個々に連絡する。同時に本学ホームページ、SNSで周知する。